

令和7年度 市国研 研究理論提案



学びを自覚し、更新し続ける 国語科学習の創造

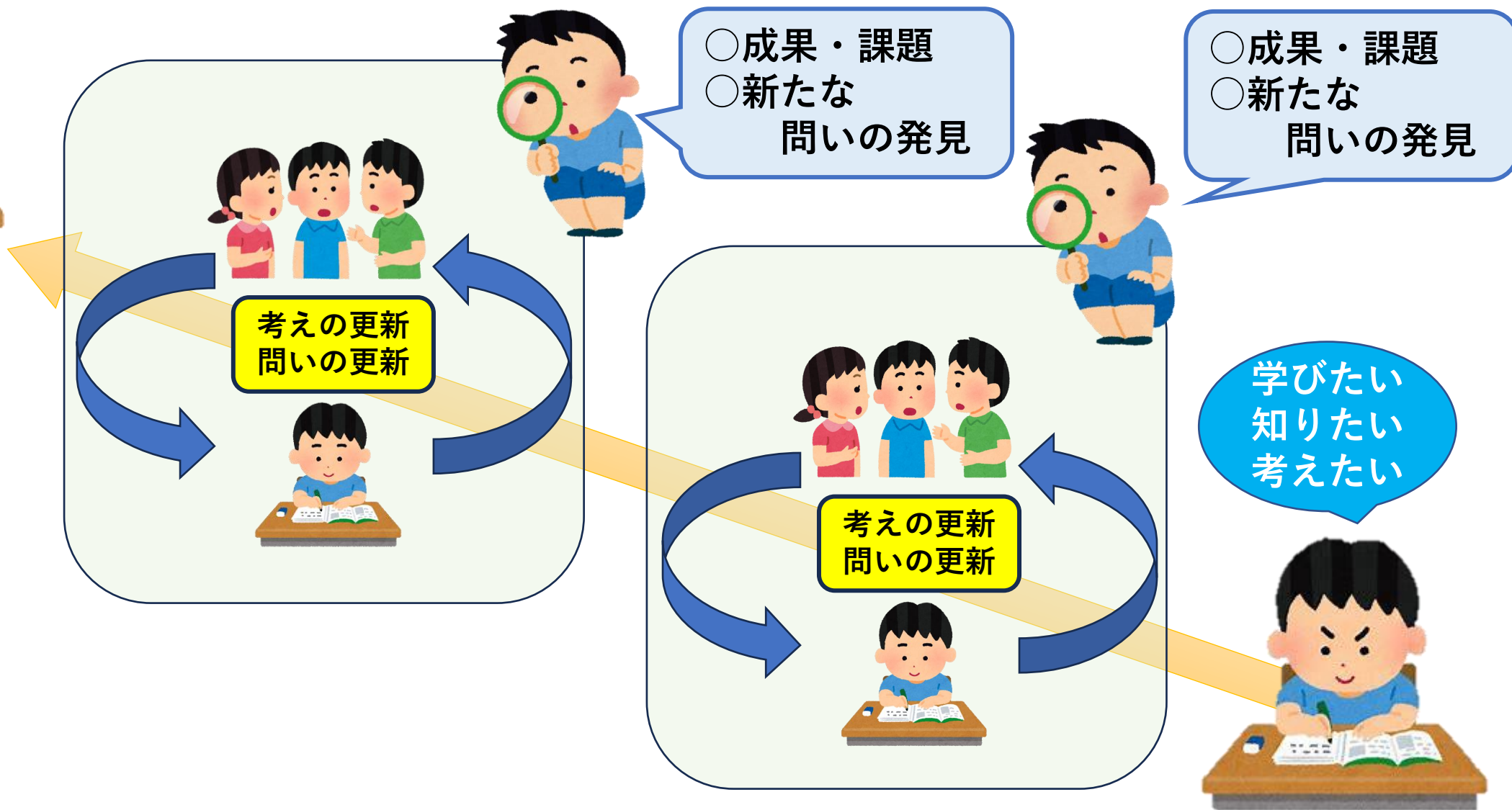
～子ども主体の学びを実現する国語科授業～



学びの自覚と更新



納得解
最適解



各領域の「問い」(例)

自分の主張を
相手に納得し
てもらうため
には…



話すこと・聞くこと

物語をおもしろくしている
表現の工夫つ
て…



読むこと

自分の思いを
相手に分かり
やすく伝える
ためには…



書くこと

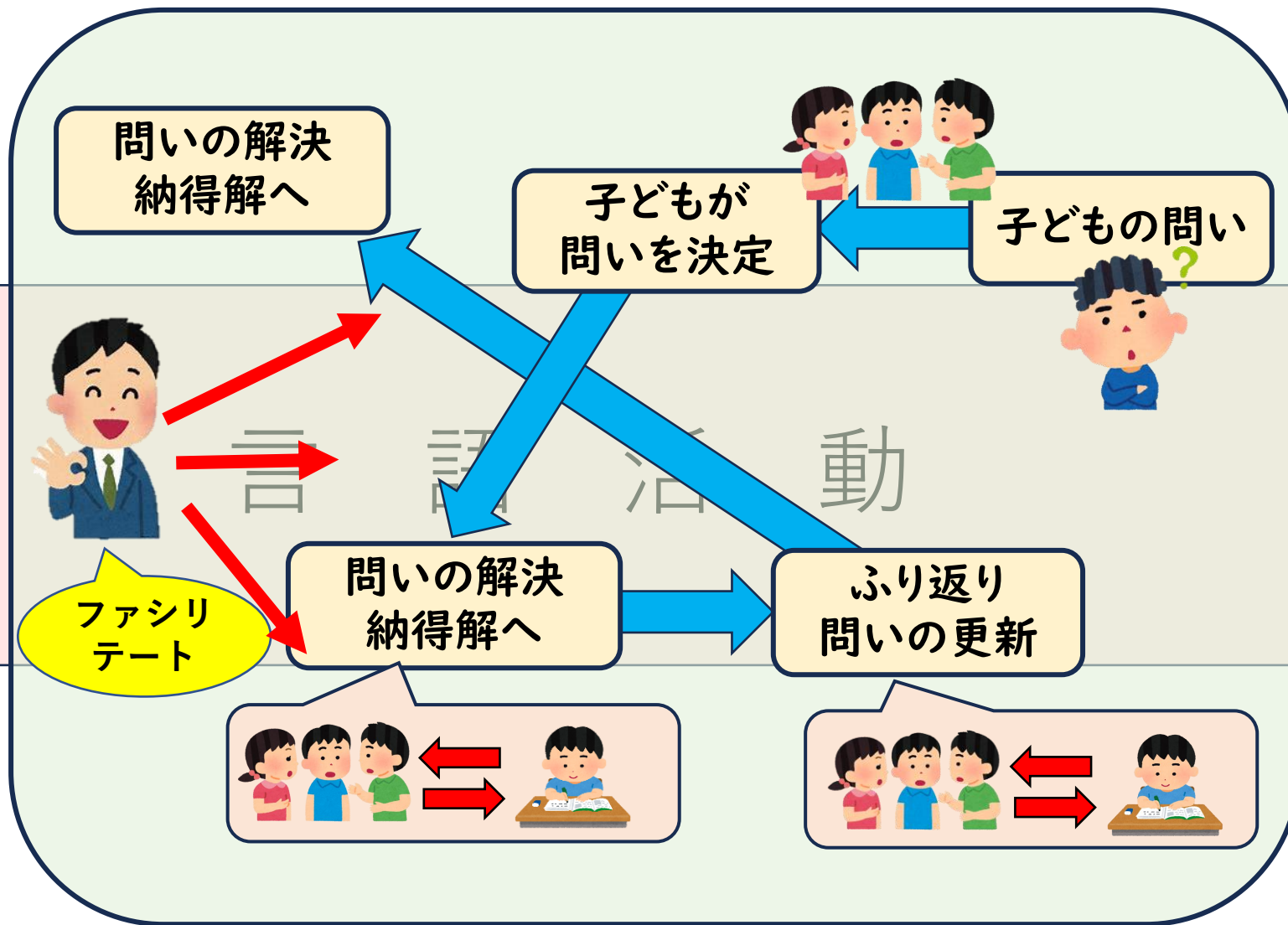
第三次

第二次

第一次

☆ 自己の変容や成長を自覚
☆ 今後の生活に生かそうとする姿

単元全体を通した振り返り



学習課題（指導事項＋言語活動）

子どもの実態（既習事項、既有知識、生活経験など）

学びの足跡 + 半歩先の自分

必要感
自分事

学びを自覚し、更新し続ける国語科学習の創造

～子ども主体の学びを実現する国語科授業～

視点 1

子どもが問いをもち、決定する場の工夫



視点 2

問いを解決し、更新していくための
個と集団の学び方の工夫

視点 3

半歩先の自分を自覚できる振り返りの工夫

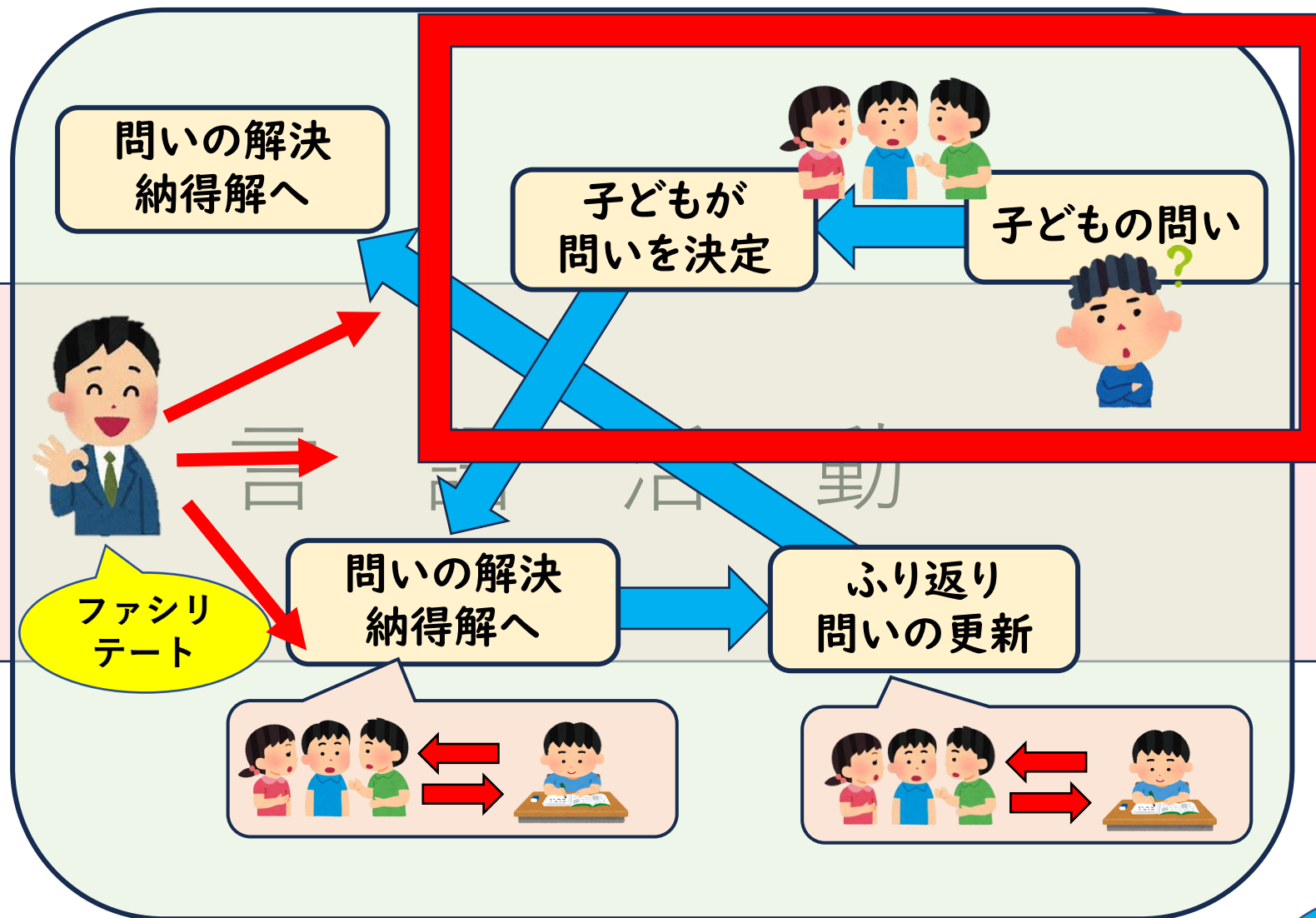
第三次

第二次

第一次

☆ 自己の変容や成長を自覚
☆ 今後の生活に生かそうとする姿

単元全体を通した振り返り



学習課題（指導事項＋言語活動）

子どもの実態（既習事項、既有知識、
生活経験など）

学びの足跡 + 半歩先の自分

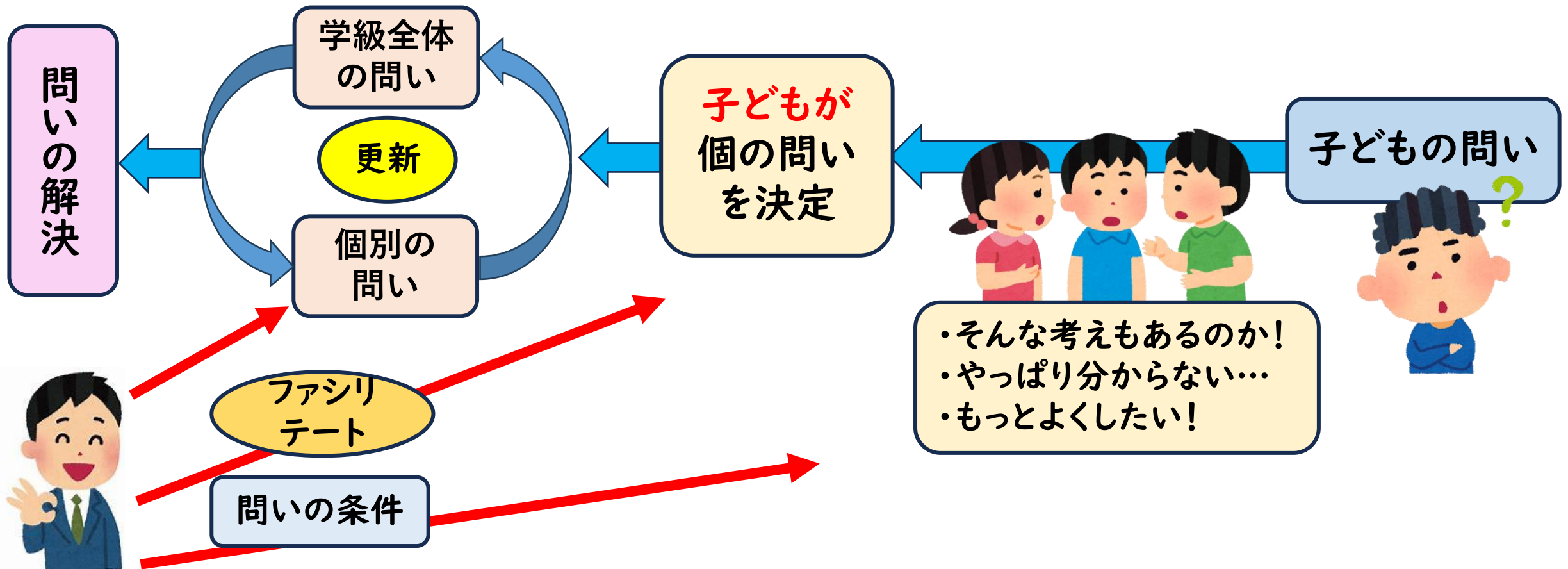
必要感
自分事

例 領域「読むこと」 文学的文章



視点1 子どもが問いをもち、決定する場の工夫

単元を通して更新



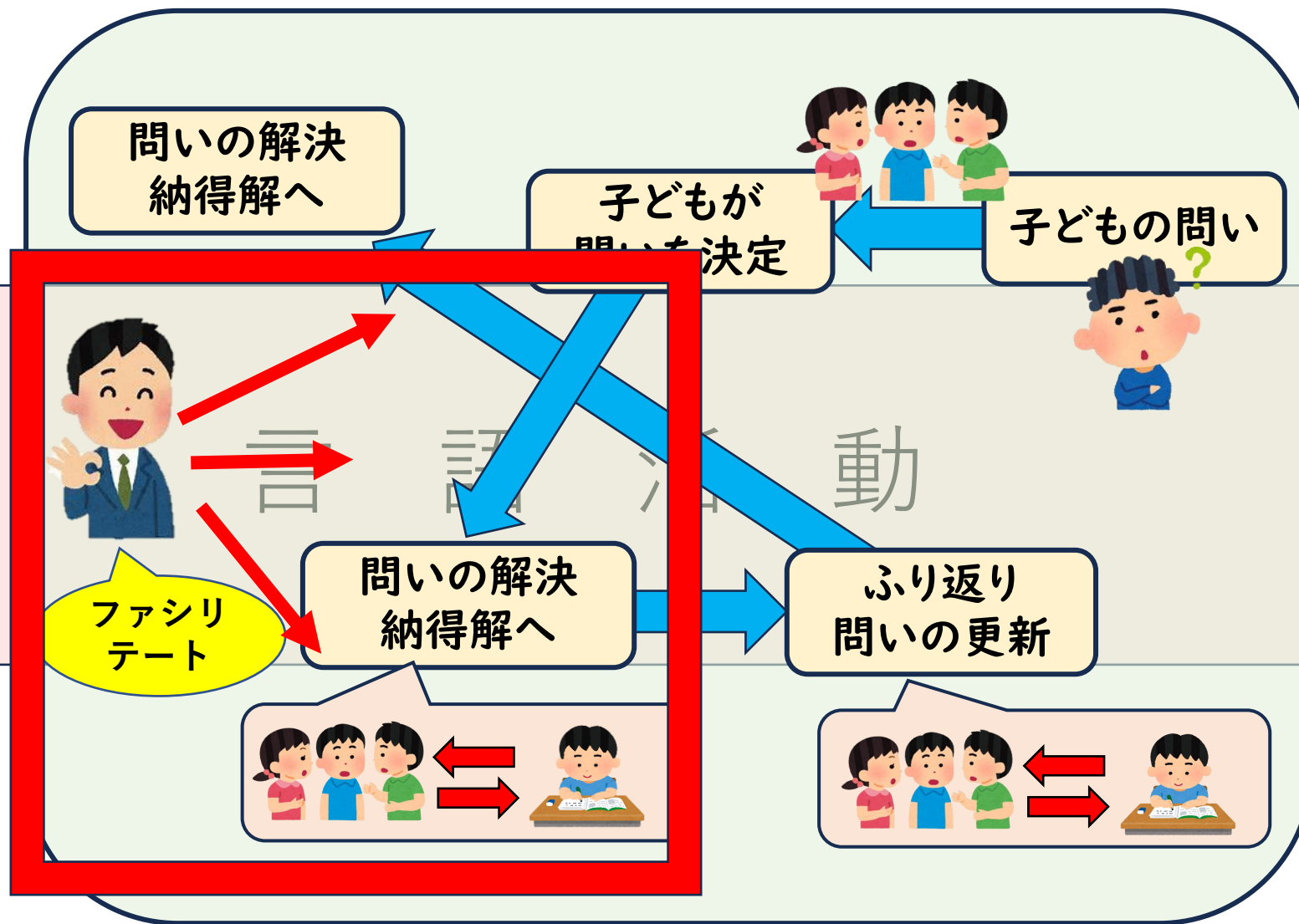
第三次

第二次

第一次

☆ 自己の変容や成長を自覚
☆ 今後の生活に生かそうとする姿

単元全体を通した振り返り



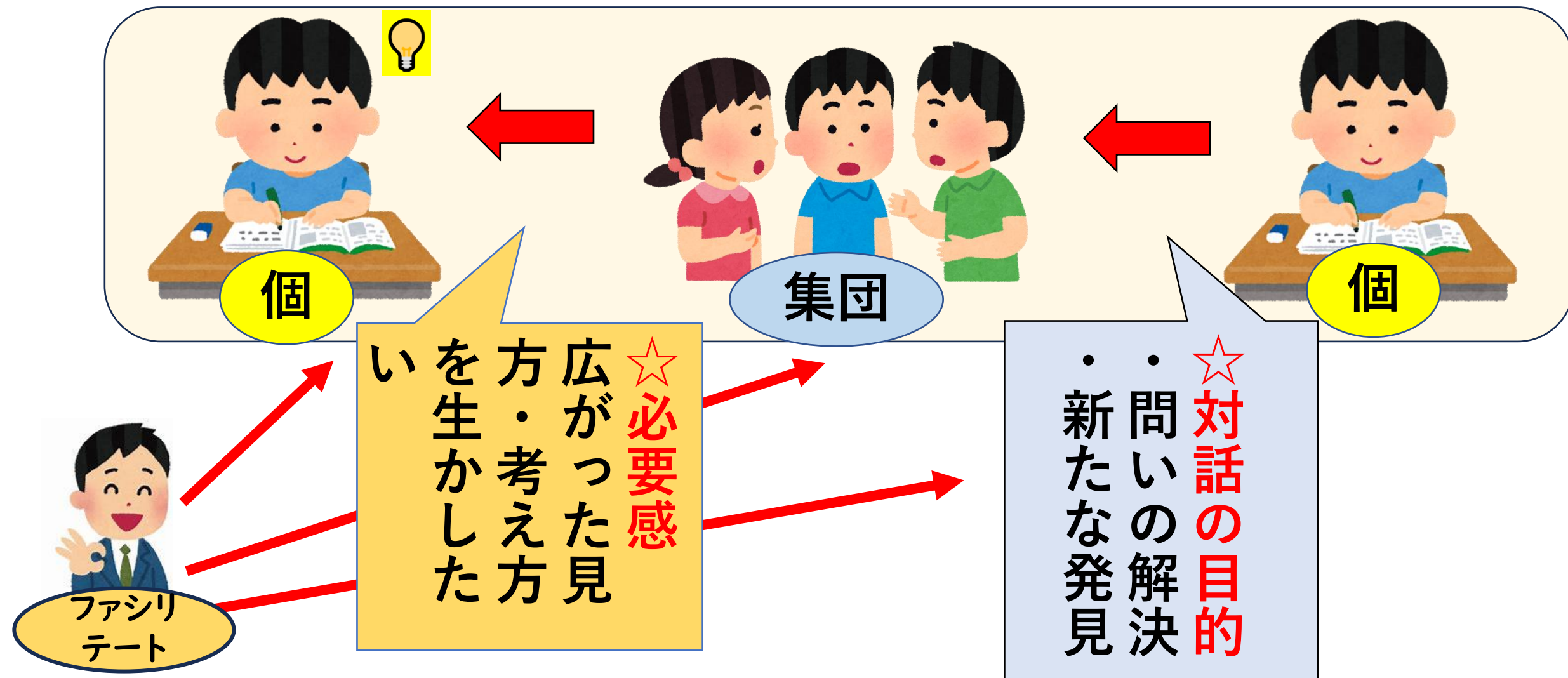
学習課題（指導事項＋言語活動）

子どもの実態（既習事項、既有知識、
生活経験など）

学びの足跡 + 半歩先の自分

必要感
自分事

視点2 問いを解決し、更新していくための 個と集団の学び方の工夫



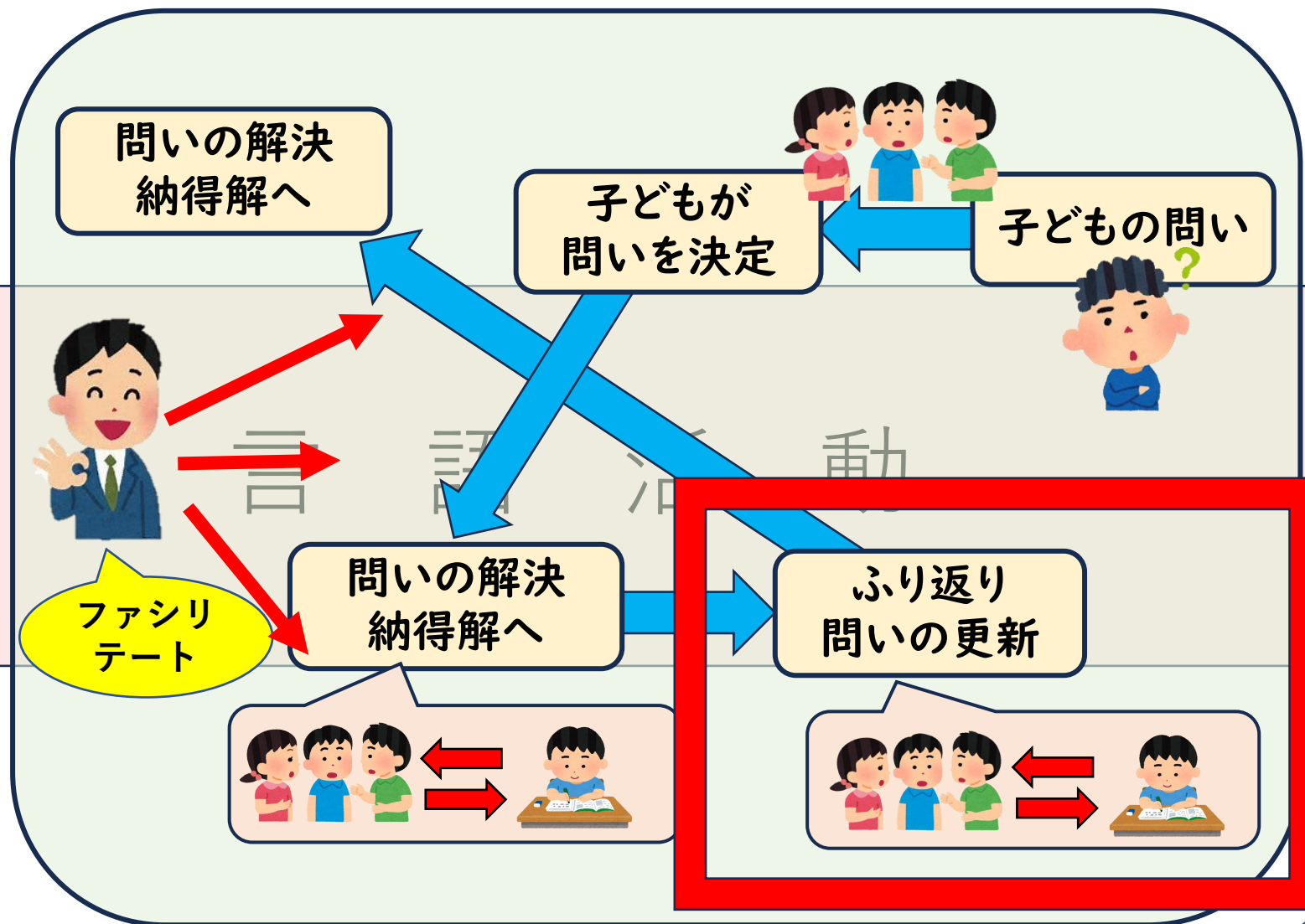
第三次

第二次

第一次

☆ 自己の変容や成長を自覚
☆ 今後の生活に生かそうとする姿

単元全体を通した振り返り



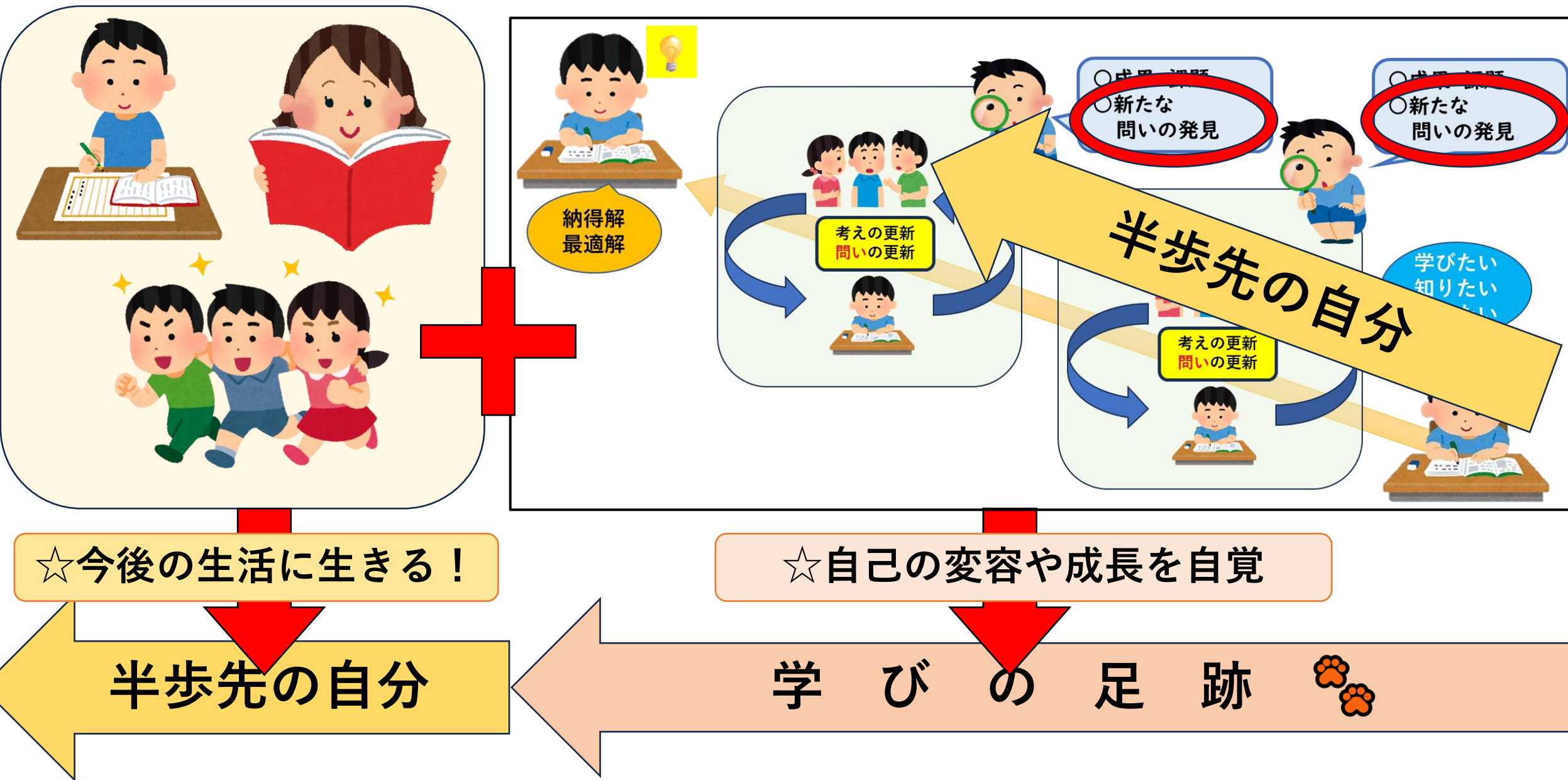
学習課題（指導事項＋言語活動）

子どもの実態（既習事項、既有知識、
生活経験など）

学びの足跡 + 半歩先の自分

必要
自分事

視点3 半歩先の自分を自覚できる振り返りの工夫



各学年の視点イメージ

	低学年	中学年	高学年
視点 1 子どもが問いをもち、決定する場の工夫	子どもの「どうして」をもとに教師が決定	子どもと教師が決定	子どもが決定 本質に迫る問い
視点 2 問いを解決し、更新していくための個と集団の学び方の工夫	教師 > 子ども → 子どもの考えや新たな問いへの価値付け	教師 $\geq$ 子ども → 個の学びと集団の学びの両方を経験	教師 $\leq$ 子ども → 個の学びと集団の学びの往還をファシリテート
視点 3 半歩先の自分を自覚できる振り返りの工夫	ポートフォリオ → 写真等を型にはめていく	ポートフォリオ (学びの足跡)	ポートフォリオ (学びの足跡 + 半歩先の自分)

ご清聴
ありがとうございました

